

令和6年度 日本大学スポーツ科学部 個人研究費 研究実績報告書

所属：スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格：専任講師

氏名：梅下 新介

研究課題名	アマチュアボクシングの試合中におけるノックダウンに関する研究
研究目的及び 研究概要	アマチュアボクシングのノックダウンは、日本ボクシング連盟の競技規則第9条ナックダウンの中で、以下のとおり、規則が定められている。①打撃を受け、足以外の身体の一部が床に触れているとき。②打撃を受け、攻撃も防御もできずにロープに寄りかかっているとき。③打撃を受け、体やその半ばがロープの外に出ているとき。④強打を受け、立っていても半ば意識を失い競技を続けられないとレフリーが判断したとき。 (参照：https://jabf-revival.com/wp-content/uploads/2023/03/post_3432.pdf) オーソドックススタイルのボクサー(右構え)及びサウスポースタイルのボクサー(左構え)が、ストレート・フック・アッパーのいずれのパンチで相手からノックダウンを奪っているか動作分析することによって、どのパンチがノックアウトに有効なのか明らかにすることを目的とする。 研究方法は、本学ボクシング部が出場した関東大学ボクシングリーグ戦(DVD)、全日本大学ボクシング王座決定戦(DVD)及び全日本ボクシング選手権大会(NHK放送録画)における試合中のノックダウンの場面を分析し、どのパンチでのノックダウンが多いか統計を取り、結果を明らかにする。
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	令和6年8月24日(土)に開催された日本ボクシング連盟主催の第78回全日本大学ボクシング王座決定戦(場所：茨城県アダストリアみとアリーナ)に解説者として参加し、全11試合の試合展開の中でのノックダウンの映像を収集した。また、令和6年5月11日(土)、25日(土)、6月8日(土)、6月22日(土)、7月13日(土)に開催された関東ボクシング連盟主催の令和6年度関東大学ボクシングリーグ戦(場所：東京都後樂園ホール)に参加し、ノックダウンのタイミング・パンチの種類について解説し、映像を収集した。加えて、令和6年7月24日(水)から8月6日(火)まで、第33回パリオリンピック競技大会に現地解説者として参加し、日本人出場選手2名の映像とともに有効打についての解説を行った。解説の配信を通して、小学生・中学生・高校生・大学生及び社会人、各指導者にノックダウンの有効性を発信することができた。今後は、パンチの種類及び時間帯の分析を行っていく予定である。